

2009. 4. 4

ピアノ出身の二人の指揮者  
**エツェンバッハ 対 バレンボイム**

プログラム

今回は共にピアニスト出身で、現在世界的に活躍している二人の指揮者、エツェンバッハとバレンボイムの演奏を集めてお聴きいただきます。実は二人は共にパリ管弦楽団音楽監督を歴任し、エツェンバッハはフィラデルフィア管弦楽団、片やバレンボイムはシカゴ交響楽団とアメリカメジャーオーケストラの音楽監督も歴任、更には共にウィーン・フィルに定期的に招かれる等、経歴には共通点が見られます。1940年生まれのエツェンバッハが堅実でじっくり音楽を練り上げて行くタイプの指揮者とすれば、1942年生まれのバレンボイムはスケールの大きいドラマティックな表現を得意とする指揮者と言えるかも知れません。ピアニストとしての演奏も合わせてお聴き下さい。さて、あなたはどちらがお好きですか？

\*\*\*\*\*

**ウォルフガング・アマテウス・モーツァルト (1756~1791):**

**ピアノ・ソナタ第14番ハ短調K.457 ~ 第1楽章から、第3楽章**

クリストフ・エツェンバッハ (ピアノ)

(1970年録音 グラモフォン盤)

**ハクトール・ベルリオーズ (1803~1869):**

**交響曲(ヴィオラ独奏付き)“イタリアのハロルド” op.16**

~ 第1楽章から、第3楽章から、第4楽章

タベア・ツインマーマン (ヴィオラ)

クリストフ・エツェンバッハ指揮パリ管弦楽団

(2001. 2 サル・プレイエルでのLive)

**アントン・ブルックナー (1824~1896):**

**交響曲第8番ハ短調~ 第4楽章**

クリストフ・エツェンバッハ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

(2005. 9. 8 ロンドン、ロイヤル・アルバートホールでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

**イサーク・アルベニス (1860~1909):**

**組曲“イベリア”第1集 ~ 第1曲 エボカシオン**

ダニエル・バレンボイム (ピアノ)

(2000. アルゼンチン、ブエノスアイレスのコロン劇場でのLive 一デビュー50周年記念一)

**リヒャルト・ワーグナー (1824~1896):**

**楽劇“神々のたそがれ” ~ 夜明けとジークフリートのラインの旅 ~ 葬送行進曲、終曲**

ダニエル・バレンボイム指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

(1992. 5. 1 スペイン、マドリードのエル・エスコリアル僧院大聖堂でのLive

一第1回 ヨーロッパ・コンサートから一)

**ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770~1827):**

**“レオノーレ”序曲第3番 op.72a**

ダニエル・バレンボイム指揮ベルリン国立歌劇場管弦楽団

(1992. 12. 7 ベルリン国立歌劇場でのLive)